

開発の背景

リアルタイムでシェーダを用いてグラフィックを描画するパフォーマンスのシェーダライブコーディングは、動画形式でのアーカイブとは相性が悪い



コードが見えない

レンダリング結果も粗い

コードのコピペも不可能

インタラクティブ性が失われる

提案

ライブコーディングの様子をコードの時間差分データとして表現し、それを復元するシステムを組み合わせる
アーカイブを作成する
ライブコーディング用のプラットフォームLiCoと
ライブコーディングをサポートするツール類を開発する



シェーダライブコーディング・アーカイブシステムの作成

- だれでもシェーダライブコーディングを楽しめるプラットフォーム LiCo -

平井 龍之介 (東京大学)

成果物 LICO

シェーダライブコーディングをアーカイブできるプラットフォーム
ワンクリックでライブコーディングを記録・再生・配信でき、
様々な支援ツール類を用いてだれでもライブコーディングを実行・鑑賞できる



記録・再生・配信



グラフィカル支援ツール



外部SNS出力

パフォーマンス



鑑賞者



《》Dynamis

だれでもシェーダが書ける言語
直観的なタグによる記述が可能

XML

```
<render>
  <twist axis="y" weight="2.0">
    <donut/>
  </twist>
</render>
```

レンダリング結果

